

①—あなたの氏名・誓約情報

日本学生支援機構理事長 殿

私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に提出した「確認書兼同意書」及び「給付奨学金確認書」にしたがい、奨学生に採用決定後は速やかに貸与奨学金は「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後、または給付に返還の義務が生じた場合には滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

誓約日 西暦(4桁) 年 月 日 (半角数字)

姓 名

漢字氏名 5文字以内 5文字以内

カナ氏名 15文字以内 15文字以内

生年月日 年 月 日生

<参考>

和暦	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
西暦	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006

国籍 ☐日本国籍 ☐日本国籍以外

国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を選択してください。

※国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。

※在留資格が永住者又は特別永住者の場合は、在留期間(満了日)の入力は不要です。

在留資格

在留期間(満了日) 西暦(4桁) 年 月 日

在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。 ☐はい ☐いいえ

在留資格が「家族滞在」の場合、大学等を卒業後も日本国で就労し、定着する意思がありますか。

☐はい ☐いいえ

在留資格が「家族滞在」の場合、日本国へ初めて入国した日について入力してください。

日本国へ初めて入国した日 西暦(4桁) 年 月 日

日本国の小学校を卒業しましたか。 ☐はい ☐いいえ

卒業した小学校名

卒業した小学校の所在地(都道府県)

日本国の中学校を卒業しましたか。 ☐はい ☐いいえ

卒業した中学校名

卒業した中学校の所在地(都道府県)

日本国の高等学校を卒業しましたか。 ☐はい ☐いいえ

卒業した高等学校名

卒業した高等学校の所在地(都道府県)

※誓約日は以後訂正することができません。

◆給付奨学金支援区分の情報提供の確認◆

あなたが給付奨学金を申込み場合は、あなたの給付奨学金における審査結果(支給額の割合に関する情報を含む。)について、機構のシステム等を通じて在籍する学校に必要なに応じて提供します。

☐同意します

◆第一種奨学金の貸与月額の確認◆

あなたが第一種奨学金(要返還、無利子)と給付奨学金又は授業料等減免の支援を併用で受ける場合は、政令等の規定に基づき、給付奨学金の支給月額及び授業料の減免額に応じて、第一種奨学金の貸与月額が調整(減額または増額)される場合があります。調整の結果、借入金額が増額となる場合は、別途届出が必要になります。また、調整後の貸与月額につき選択が可能な場合は、機構の定めるところにしたがい調整前の貸与月額と同額以下の貸与月額に調整されます。

☐同意します

誓約日はスカラネット入力完了日となります。

「給付奨学金案内(家計急変採用)」27ページを参照しながら、学生本人の本名を全角で入力してください。

(例) 漢字氏名 機構 かをる
カナ氏名 キコウ カオル

△カナ氏名は、振込口座の名義人氏名と同一であることが必要です。通帳の口座名義人氏名を必ず確認しながら入力してください。

生年月日の入力を誤ると、正しく成年判定を行うことができませんので注意してください。

外国籍の人は「給付奨学金案内(家計急変採用)」15ページの表のとおり在留資格に制限があります。必ず在留資格を在留カード等で確認してください。

日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者及び家族滞在の人は、在留期間(満了日)を入力してください。在留資格が法定特別永住者又は永住者の場合は、在留期間(満了日)の入力は不要です。

STEP3

②—奨学金申込情報

1. 給付奨学金の新規申込みを希望しますか。

☒希望します ☐希望しません

高等教育の修学支援新制度における「授業料等減免」の申請を希望しますか。

☐希望します ☐希望しません

2. 貸与奨学金(月額:第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子))の新規申込みを希望しますか。

☐希望します ☒希望しません

③—あなたの在学情報

大学の場合

1. 学校

(1) あなたの学校名を確認してください。

(1) ××大学

(2) あなたの学籍番号を記入してください。(2) (半角英数字記号)

(3) あなたの在学している学部(科)名を選択してください。(3)

(注) 短期大学・専修学校在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。

家計急変採用への申込みのため「希望しません」に変更できません。

家計急変採用への申込みの場合、「希望しません」が選択されています。貸与奨学金を希望の場合は、別に申込む必要があります。ここで「希望します」に変更はできません。

(2)学籍番号は半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字を入力することができません。学籍番号にそれ以外の文字が使われている場合、学校の指示にしたがってください。

- (4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) ☐いいえ ☐専攻科 ☐別科
- (5) 学年を記入してください。 (5) (半角数字) 学年
- (6) 昼夜課程を選択してください。
- (6) ☐昼(昼夜開講含む) ☐夜 ☐通年スクーリング ☐昼間スクーリング
- (7) 現在通っている学校への入学について、次の①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。
- ☐①現在通っている学校の1年次に入学した。(同一校で転学部・科している場合を含む)
→入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- ☐②現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した。(以下の3つの年月を全て記入してください。)
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- ☐③現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した(編入学又は転学の前に在学していた学校(大学、短大、高専、専門学校)が2つ以上ある)。(以下5つの年月を全て記入してください。)
- 【1回目の編入学】
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
→2回目の学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- 【2回目の編入学】
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

(4) 別科は対象外です。専攻科は短期大学及び高等専門学校の認定専攻科が対象です。

(5) ページ下に掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照し、卒業年月に合わせた実質学年を入力してください。編入学の場合は編入した学年を入力してください。

(例)
☐2年次休学のため3年次へ進級できなかった場合→2学年
☐3年次編入→3学年

(6) 通学課程の学生は「昼(昼夜開講含む)」又は「夜」を選択してください。(高等専門学校の場合、この設問は表示されません。)

(7) ①～③から該当する1つを選択してください。

編入学又は転学した人は、前に在学していた学校への入学年月等も入力が必要です。

(例)
2022年4月にA短期大学に入学。2024年3月にA短期大学卒業後、2024年4月にB大学の3年次に編入学

- ・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 2022年4月(A短期大学の入学年月)
- ・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 2024年3月(A短期大学の卒業年月)
- ・現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 2024年4月(B大学へ編入学した年月)

短期大学又は高等専門学校の認定専攻科に在学している人は、以下の年月を入力する設問が表示されます。

- ・専攻科に入学する前に通っていた学校へ入学した年月
- ・専攻科に入学する前に通っていた学校に在籍していた最終年月
- ・専攻科に入学した年月

高等専門学校から編入学、転学又は専攻科に入学した場合、前に在学していた学校の入学年月には高等専門学校の4年次に進級した年月を入力してください。

短期大学及び高等専門学校の人は、以下のとおり設問が変更になります。この設問において、あなたが在籍している専攻科が、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を受けているかを「認定専攻科の一覧表」で確認し、「はい」又は「いいえ」を選択してください。(「いいえ」を選択した場合、給付奨学金の支援対象外です。)

- (4) あなたは正規の課程を修了後に専攻科に在学していますか。 ☐はい ☐いいえ
- 上記で「はい」と答えた人にお聞きします。
あなたが在籍する専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に認められた認定専攻科ですか。
- ☐はい ☐いいえ
- 認定専攻科の一覧表(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構のページへリンク)(PDF)

高等専門学校の場合は、以下のとおり設問が変更になります。

- (6) あなたの入学年月を記入してください。
西暦(半角数字4桁) 年 月 入学
- (7) 現在通っている学校の4年次へ進級した年月を記入してください。
西暦(半角数字4桁) 年 月

- (8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。
(8) 西暦(半角数字4桁) 年 月 卒業予定
- (9) あなたの正規の修業年限を記入してください。
(9) (半角数字) 年 か月

<入学・卒業予定年月早見表>

2024年4月現在 1年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年	2024/4	2026/3
3年		2027/3
4年		2028/3
5年		2029/3
6年		2030/3

2024年4月現在 2年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年	2023/4	2025/3
3年		2026/3
4年		2027/3
5年		2028/3
6年		2029/3

2024年4月現在 3年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年	2022/4	2025/3
4年		2026/3
5年		2027/3
6年		2028/3

2024年4月現在 4年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
4年	2021/4	2025/3
5年		2026/3
6年		2027/3

(8) 通常は正規の卒業予定年月を入力します。例えば新入生で2年課程の人は2026年3月になりますが、過去に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の卒業予定ではなく、今現在の卒業予定期を入力してください(左に掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照してください)。なお、年度途中修了など特別な事情により、卒業月が3月以外になる学部・学科に在籍する場合は学校に確認してください。

(9) 「修業年限」とは、あなたの学部・学科が何年課程のものかという意味です。
※現時点からあと何年通うかという意味ではありません。入力間違いをしないよう注意してください。

(例)
☐4年課程の3年次に在学(編入)する人の修業年限は4年。
☐2年課程に在学し、1年次の途中で申し込む人の修業年限は2年(1.5年ではありません)。

参考

※長期履修学生について

長期履修学生（「給付奨学金案内（家計急変採用）」5ページ参照）については、原則として奨学金を受けることのできる期間は通常課程の標準修業年限に相当する期間のみとなります。この場合、卒業予定年月は通常課程の卒業予定年月を、修業年限は通常課程の標準修業年限を入力するうえ、学校担当者へ申し出てください。

（2024年4月入学者の例）

通常課程の標準修業年限は2年・卒業予定年月は2026年3月

3年かけて履修し2027年3月が卒業予定年月となる長期履修学生

⇒卒業予定年月は2026年3月・修業年限は2年0か月と入力してください。

(10) あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。

※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

郵便番号（半角数字）

住所検索

住所 1（自動入力）

住所 2（番地以降）（全角文字）

郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、**奨学金申込時点**で通学しているキャンパスの住所を選択してください。自動表示されない場合は郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

※[8]ページの「住所の入力例」参照

(11) あなたの通学形態を選択してください。

※社会的養護を必要とする人が、児童養護施設等や里親等のもとから通学し、本人居住にかかる費用（家賃）を負担していない場合は、「自宅通学（またはこれに準する）」を選択してください。

※社会的養護を必要とする人を含む独立生計者が居住にかかる費用（家賃）を支払いながら通学している場合は、学校までの通学距離・時間等に関わらず「自宅外通学」を選択し、下記設問にて⑤及び「支障が生じる」を選択するうえ、支障が生じる理由の入力欄に「独立生計者である」旨を入力してください。

※給付奨学金を希望する人が「自宅外通学」を選択した場合でも、自宅通学の月額からの振込み開始となります（給付奨学金に併せて第一種奨学金を希望する場合、第一種奨学金も自宅月額からの振込みとなります）。自宅外月額の振込みは、生計維持者（原則父母）と別居し、かつ学生等本人の居住に係る家賃が発生していることの証明書類（アパートの賃貸借契約書のコピー等）を学校へ提出し、不備なく審査終了してからとなります。

☐ 自宅通学（またはこれに準する） ☐ 自宅外通学

上記で「自宅外通学」を選択した人にお聞きます。

「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するものを全てを選択してください。

いずれにも該当しない場合は、「自宅通学（またはこれに準する）」を選択し直してください。

- ☐ ①実家（生計維持者いずれもの住所）から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上
- ☐ ②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上
- ☐ ③実家から大学等までの通学費が月1万円以上
- ☐ ④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下
- ☐ ⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

上記で「⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難」と答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じますか。

☐ 支障が生じる ☐ 支障が生じない

上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。

「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。

郵便番号（ハイフンなし・半角数字）

住所検索

住所 1（自動入力）

住所 2（番地以降）（全角文字）

・「自宅外通学」を選択した場合は入力が必要になります。

※[8]ページの「住所の入力例」参照

注意!

家計急変採用の申込みにあたっては、以下に読み替えてください。

- ・「4月振込分からの」→削除
- ・「2024年4月1日時点」→「申込時点」
- ・「（2024年4月2日以降に…（略）…別途手続きが必要です。）」→削除

④ー奨学金給付額情報

1. 給付奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) 給付奨学金が採用となった場合、4月振込分からの支給の停止を希望しますか。注意!

※「はい」と答えた人は、給付奨学金の振込みはありません ☐ はい ☐ いいえ

「はい」と答えた人は、停止理由を選択してください。

- ☐ 2024年4月1日時点申込時点で休学中であるため（2024年4月2日以降に休学が始まる場合は該当しません。申込後、別途手続きが必要です。）
- ☐ 他団体の奨学金利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が認められないため
- ☐ その他

注意!

支給を受けたい時は「いいえ」を選択してください。「はい」を選択すると、採用されても振込みされません。

以下のような場合に「はい」を選択してください。

- ・海外留学支援制度の利用に伴い、支給を停止する必要がある
 - ・他団体の奨学金の利用に伴い、日本学生支援機構の奨学金の利用に制限があるため、支給を停止する必要がある
- ※届出による停止解除により、支給を再開することができます。

国費による支援を受けている、又は受ける予定がある場合は、ここではなく（2）で該当する内容を選択してください。

(2) あなたは、2024年4月以降、以下の支援を受ける予定がありますか。(ハローワークや役所からあなた本人が受けている給付金があれば、次に該当するものがないか、必ず確認してください。)

※2024年4月以降、以下の国費による支援を受けている期間は、**日本学生支援機構の給付奨学金の額は0円となります。**

- ・教育訓練支援給付金【雇用保険法】
- ・訓練延長給付、技能習得手当（受講手当、通所手当）、寄宿手当【雇用保険法】
- ・職業訓練受講給付金【職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律】
- ・高等職業訓練促進給付金（ひとり親家庭の親を対象とする給付金）【母子及び父子並びに寡婦福祉法】
- ・職業転換給付金＜訓練手当＞【労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律】

- ☐ 支援を受けておらず受ける予定もない
※支援を受けている期間は給付奨学金の振込みはありません。
- ☐ 支援を受けている **注意!**
受給予定期間を記入してください。
(西暦) (半角数字4桁) 年 月 ~ 年 月
- ☐ 支援を受ける予定である **注意!**
受給予定期間を記入してください。
(西暦) (半角数字4桁) 年 月 ~ 年 月

国費の一覧表(文部科学省ホームページヘルリンク) (PDF)
※申告漏れの場合、給付奨学金の全額返金を求めることがあります。

(3) あなたが給付奨学金を申し込むのは、以下の予期できない事由が発生し、家計が急変したためですか。

※別途、「給付奨学金申請書(家計急変採用)」と事由に応じた証明書類の**提出を行える場合にのみ**、「はい」を選択してください。

- A 生計維持者の一方(又は両方)が死亡
- B 生計維持者の一方(又は両方)が事故又は病気により半年以上就労が困難
- C 生計維持者の一方(又は両方)が失職(非自発的失業の場合に限る)
- D 生計維持者が震災、火災、風水害等に被災した場合であって、次のいずれかに該当
- ① 上記A~Cのいずれかに該当
- ② 被災により、生計維持者の一方(又は両方)が生死不明、行方不明、就労困難など世帯収入を大きく減少させる事由が発生
- E 父母等による暴力等から避難

☒ はい ☐ いいえ

「はい」と答えた人は、生計維持者別に該当する家計急変事由項目に☒を付け、家計が急変した事由が発生した年月日をご入力ください。

生計維持者	家計が急変した事由が発生した年月日(西暦)
☐ A: 生計維持者の一方(又は両方)が死亡	
☐ B: 生計維持者の一方(又は両方)が事故又は病気により、半年以上、就労が困難	
☐ C: 生計維持者の一方(又は両方)が失職(「非自発的失業」に限る。)	
☐ D: 生計維持者が震災、火災、風水害等に被災した場合であって、次のいずれかに該当	
① 上記A~Cのいずれかに該当し、A~Cの証明書を提出することができない。 ② 被災により、生計維持者の一方(又は両方)が生死不明、行方不明、就労困難など世帯収入を大きく減少させる事由が発生	
☐ E: 父母等による暴力等から避難	

注意!

家計急変採用の申込みにあたっては、以下に読み替えてください。

・「2024年4月以降、」→削除

注意!

申込者本人(あなた)が受けているかどうかについて選択してください。
生計維持者(父母等)が受けている場合は該当しません。

「支援を受けている」「支援を受ける予定である」を選択した人には、給付金の種類が表示されます。
あなたが受けている(受ける予定である)給付金の種類を選んでください。

「はい」を選択しないと次の画面へ進むことができません。スカラネット入力時点でA~Eの事由に該当しない場合(既に事由が解消している場合も含む)は入力を中断し、学校に申し出てください。

チェックを入れないと次の画面へ進むことができません。

生計維持者

家計が急変した事由が発生した年月日（西暦）

☐ A：生計維持者の一方（又は両方）が死亡

☐ 父

 年 月 日

☐ 母

 年 月 日

☐ その他

未選択 ▼

 年 月 日

（注）事由発生日が複数ある場合は、後の事由発生日で審査します。申請書に、後の事由発生日を記入してください。

【生計維持者の確認】以下の表を参考に生計維持者となる人を確認してください。

⑤ー奨学金貸与額情報

給付奨学金のみ希望する方は、入力の必要はありません。

急変事由を選択すると、急変者を選択できるようになります。

発生日年月日を入力しないと次の画面へ進むことができません。
急変者が複数の場合はそれぞれ入力してください。

表は「給付奨学金案内（家計急変採用）」14ページを参照してください。

STEP 4

⑥ーあなたの履歴情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦（半角数字4桁） 年 月 卒業または退学

2. あなたは国内の高等学校（本科）を卒業しましたか。

※ここでいう「高等学校」には、国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校（第1学年から第3学年まで）又は専修学校の高等課程（修業年限が3年以上のもの）を含みます。（インターナショナルスクールや在外教育施設等は含みません。）

※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合は入力不要です。

☐ はい ☐ いいえ

「はい」と答えた人にお聞きます。

あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。

西暦（半角数字4桁） 年 月

「いいえ」と答えた人にお聞きます。

あなたが現在通っている学校への入学前の履歴は次のうちどちらになりますか。

- ☐ 高等学校卒業程度認定試験合格者
☐ その他（インターナショナルスクール、在外教育施設等）

「高等学校卒業程度認定試験合格者」と答えた人にお聞きます。

あなたは高等学校卒業程度認定試験にいつ合格しましたか。

西暦（半角数字4桁） 年 月

あなたは、高等学校卒業程度認定試験の受験資格を取得した年度（16歳になる年度）から高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで5年を経過していますが、5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していましたか。

☐ はい ☐ いいえ

「その他」と答えた人にお聞きます。

あなたが卒業又は修了した「その他」の学校名（正式名称）とその学校を卒業又は修了した年月を記入してください。

西暦（半角数字4桁） 年 月

3. 【給付】あなたはこれまでに、日本学生支援機構の給付奨学金（原則、返還不要）を受けていますか。（現在支給が終了しているものを含む）

☐ はい ☐ いいえ

【貸与】あなたはこれまでに、日本学生支援機構の貸与奨学金（第一種・第二種）（原則、要返還）を受けていますか。（現在貸与が終了しているものを含む）

☐ はい ☐ いいえ

上のいずれかの設問で「はい」を選択した人はその奨学生番号を記入してください。

※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合、貸与額が調整されます。

※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。

※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

半角数字

奨学生番号 1				削除	追加
例 奨学生番号 1	622	04	999999	削除	追加
奨学生番号 2	623	08	999999	削除	追加
奨学生番号 3	821	01	999999	削除	追加
奨学生番号 4	823	02	999999	削除	追加
奨学生番号 5				削除	追加

直近に卒業又は退学した学校の年月及び学校を選択してください。

高等学校卒業後に専修学校高等課程などに進学・卒業した場合、「あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月」は専修学校高等課程ではなく高等学校の卒業年月を入力してください。

高等専門学校を卒業した場合、第3学年終了年月を入力してください（高等課程2年間を含まない年月を入力してください）

（例）
高等専門学校（高等課程）を2024年3月に卒業
⇒高等学校を卒業した年月は2022年3月

卒業・修了年月または合格年月入力欄の下に、「大学等への入学時期等に関する要件」の説明が表示されます。
説明を読み、あなたが要件に該当することを確認したら「確認しました」にチェックを入れてください。

日本学生支援機構の給付奨学金又は貸与奨学金を受けている、あるいは受けたことがある場合は、設問にて「はい」を選択のうえ、その奨学生番号を全て入力してください。奨学金を受けたことがない場合は、設問で「いいえ」を選択してください。

高校在学中に、都道府県等（日本学生支援機構及び日本育英会以外）から奨学金の貸与を受けていた人は、「いいえ」を選んでください。高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は、平成17年度入学者より、日本学生支援機構から各都道府県に移管されました。

奨学生番号が複数ある場合は「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を入力してください。入力を取り消す場合は「削除」ボタンを押してください。

「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」とは、下記のような場合が該当します。
 （例）・16歳になる年度：2014年度 ・2019年度、2020年度に高等学校卒業程度認定試験受験（不合格）
 ・16歳になる年度から5年経過 ・2021年度に高等学校卒業程度認定試験受験（合格）
 ⇒2019年4月1日以降

※2019年度又は2020年度に受験していない場合、「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」に該当しないため、申し込むことができません。

STEP5

⑦一保証制度

給付奨学金のみ希望する方は、入力する必要はありません。

STEP6

⑧一貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人等情報

1. あなた自身について入力してください。

- (1) あなたのお名前は△△ ○○さんですね。 (2) ○男 ○女 ○回答したくない
(3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。 (3) 成年判定
(4) あなたの現住所を記入してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。

(4) 郵便番号 (ハイフンなし・半角数字) 住所検索

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

(5) あなたの電話番号を記入してください。

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(ハイフンなし・半角数字)

携帯電話の電話番号を記入してください。(ハイフンなし・半角数字)

①—あなたの氏名・誓約情報で
入力した姓名が表示されます。

①—あなたの氏名・誓約情報で
入力した生年月日により判定さ
れます。

あなたのマイナンバーを申込時
に提出できない場合は、**住民票
住所**の入力が必要です。
※以下の「住所の入力例」参照

固定電話と携帯電話を両方所有
している場合は、どちらも入力
してください。

住所の入力例

(郵便番号) 1629999 住所検索 ←押下

注意！

表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所1(自動入力) ○東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目
○東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目
○東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目

住所2(番地以降) 99-9 機構ハイツ 505

注意！

※番地以降を全て全角で入力してください(英数字やハイフン、スペースを含む)。

入力漏れがあると次の画面に進めません。

※番地以降のない住所は、住所2欄に全角で「. (ピリオド)」を入力してください。

※住所2欄には、住所1欄の表示部分を入力しないでください。

上記例の場合、住所1欄で「1丁目」を選択し、住所2欄に誤って「1丁目 99-9…」と入力した場合、届出内容は「1丁目1丁目99-9…」となります。

※住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。連絡のとれる国内の住所等を入力してください。

未成年者は、「親権者(未成年後見人)について」の入力画面が表示されますので、設問にしたがって入力してください。

なお、スカラネット入力完了日(誓約日)時点で、あなたが未成年(18歳未満)と判定された場合に表示されますが、以下を確認してください。

成年にも関わらず表示される場合や、未成年にも関わらず表示されない場合は、STEP2 ①—あなたの氏名・誓約情報で生年月日の入力が間違っている可能性があります。この場合、①—奨学金振込口座情報の次に表示される「奨学金申込情報一覧」で、入力内容を修正してください。

※親権者とは、民法に定められた親権者のことで、あなたが未成年の場合は、**原則父母のことで**す。未成年後見人とは、親権者がいないとき、または親権を行う者が管理権を有しないときに、法定代理人となる人のことです。父母がいない場合は、「給付奨学金確認書」の親権者欄に署名した人の情報を入力してください。親権者についてわからないことがあれば在学学校に確認してください。

STEP 7

⑨ーあなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。 ☐ はい ☐ いいえ
「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。
☐ 児童養護施設入所者等 ☐ 児童自立支援施設入所者等
☐ 児童心理治療施設入所者等 ☐ 自立援助ホーム入所者等
☐ 里親に養育されている（いた）人 ☐ ファミリーホームで養育されている（いた）人
2. 生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について入力してください。
1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。
※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要です（離婚等により完全に別生計の人を除く）。
- (1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。 (1) 人
- (2) 生計維持者①（父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）
- (a) あなたとの続柄 (a)
- (b) 生計維持者①の氏名 姓 名
漢字氏名（全角5文字以内）
カナ氏名（全角15文字以内）
- (c) 生計維持者①の住所 (c) 郵便番号（ハイフンなし・半角数字） 住所検索
住所 1（自動入力）
住所 2（番地以降）（全角文字）
- (d) 生計維持者①の生年月日 (d) 年 月 日生
- (e) 生計維持者①のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。
(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
(注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。
提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。
☐ 準備できている
☐ これから準備する
☐ その他
- (f) 生計維持者①は2023年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。
☐ はい ☐ いいえ
- (g) 生計維持者①は2023年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。
☐ はい ☐ いいえ

「はい」を選択する人は、施設に入所していた（入所している）、又は里親による養育を受けていたことがわかる日付が記載された証明書類の提出が必要です。

※事由E申請書類（公的機関による保護証明書）のみでは社会的養護を必要とする人には該当しません。社会的養護を必要とする人については「給付奨学金案内（家計急変採用）」3ページを参照してください。

（証明書類の例）
施設等在籍証明書（施設長発行）、児童（里親）委託証明書（児童相談所発行）、措置解除決定通知書（児童相談所発行）等
※機構の所定様式「施設等在籍・退所証明書」でも可。

※生計維持者については、必ず「給付奨学金案内（家計急変採用）」14ページを確認してください。

生計維持者とは、あなたの生計を維持する人という意味であり、原則父母（父母ともいる場合2人とも）としています。無収入の場合でも、生計維持者として入力する必要があります。入力もれがないか確認してください。

生計維持者は最大2人です。

生計維持者①の入力は必須です。
ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。

離婚後に父母が再婚（事実婚含む）している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。
その際は、養子縁組の有無にかかわらず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

「給付奨学金案内（家計急変採用）」27ページを参照しながら、生計維持者①の本名を全角で入力してください。

10月以降に奨学金を申し込む場合は、2023年を2024年に読み替えてください。

(3) 生計維持者②（父、母など）

(a) あなたとの続柄

(a)

(b) 生計維持者②の氏名

姓

名

漢字氏名（全角5文字以内）

カナ氏名（全角15文字以内）

(c) 生計維持者②の住所 (c) 郵便番号（ハイフンなし・半角数字）

住所検索

住所 1（自動入力）

住所 2（番地以降）（全角文字）

(d) 生計維持者②の生年月日

(d) 年 月 日生

(e) 生計維持者②のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。

(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。

(注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。

提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

☐ 準備できている☐ これから準備する☐ その他

(f) 生計維持者②は2023年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。

☐ はい ☐ いいえ

(g) 生計維持者②は2023年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。

☐ はい ☐ いいえ

3. あなたの生計維持者が扶養している親族の数（あなたを含む）を入力してください。

※以下の両方の条件を満たす親族の人数を入力してください。

1. あなたの生計維持者が税法上扶養していること
2. 1. の生計維持者より年下であること

参考：扶養親族の説明（PDF）

(1) 2022年12月31日時点で、あなたの生計維持者が扶養している親族の数（あなたを含む）を入力してください。

(1) 人

(2) 2023年12月31日時点で、あなたの生計維持者が扶養している親族の数（あなたを含む）を入力してください。

(2) 人

4. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の合計額は2,000万円未満（生計維持者が1人の場合は1,250万円未満）ですか。

※対象となる資産の範囲：現金及びこれに準ずるもの、預貯金並びに有価証券の合計額（不動産は対象としない）。

☐ はい ☐ いいえ

5. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の額をそれぞれ入力してください。（1万円未満切り捨て）

（半角数字）

あなた

 万円

生計維持者①

 万円

生計維持者②

 万円

合計

 万円

◆ 一人親家庭

6. 父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている理由について、次のうち該当するものを選択してください。

☐ 父又は母と死別した。☐ 父母の離婚等により、父母いずれかとわたし（本人）は別生計である。

※「離婚等」には、離婚調停中、DVによる別居中、又は未婚の場合なども含まれます。

☐ 父又は母が、生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。☐ その他

◆ 父母以外

6. 生計維持者に父母以外の人を入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。（複数選択可）

☐ 両親（父母）と死別した。☐ 両親（父母）が生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。☐ わたし（本人）は結婚しており、両親ではなく、生計維持者欄に記載した配偶者に扶養されている（納税手続きにおいて、わたしの夫（妻）の扶養に入っている。）☐ その他

父母のうち [9] ページ (2) に入力した人ではない人を、必ず入力してください。ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。

※一人親の場合は (3) の入力は不要です。
※父母ともいない場合で代わって生計を維持している人がいるときは、主に生計を維持している人を [9] ページ (2) に入力してください。 (3) の入力は不要です。

離婚後に父母が再婚（事実婚含む）している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。
その際は、養子縁組の有無に関わらず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

「給付奨学金案内（家計急変採用）」27 ページを参照しながら、生計維持者②の本名を全角で入力してください。

10月以降に奨学金を申し込む場合は、2023年を2024年に読み替えてください。

「いいえ」を選択した場合は家計基準を満たしていないため採用されません。なお、資産に関する証明書類の提出は不要です。

生計維持者①の続柄が「申込者本人」である場合は、この欄の生計維持者①及び②は非活性となります。

⑨-あなたの家族情報の2.にて、父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合にのみ表示されます。
「離婚等」については、単なる不仲による別居は認められません。また、「その他」に入力する場合はできるだけ具体的に入力してください。

⑨-あなたの家族情報の2.にて、父母以外の人を生計維持者としている場合にのみ表示されます。
父母以外の人を生計維持者にした理由として、父母と単に不仲であることは認められません。

該当する選択肢が2つ以上あれば全て選択してください。

なお、ここでの「生計維持者が父母以外」（1名）となるケースは以下のような場合です。

・両親（父母）と死別し、おじ夫婦と生活している

※おじ夫婦のうち、あなたの生計を主に維持している方（1名）が「生計維持者」となります。

・両親（父母）が生死不明のため、未成年後見人（祖父）と生活している。

注意！口座情報に誤りがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。

入力しようとしている口座が奨学金を受け取れる口座かどうか、次のチェックリストを使って確認してください。

- ☐ あなた本人の預・貯金口座です。
 - ☐ 銀行等の普通預金口座、または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座です。
 - ☐ 誓約欄のカナ氏名と通帳の口座名義人（カナ）は完全に同一です。
 - ☐ 金融機関名・支店名・口座番号（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号・番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいです。（※）
 - ☐ この通帳は1年以内に記帳できました（休眠口座ではありません）。
 - ☐ 農協、信託銀行、外資系銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等の口座ではありません。
- ※ 3か月以内に新設された支店は選択できない場合があります。

STEP9

①ー奨学金振込口座情報

1. 公金受取口座の利用を希望しますか。 1. ☐ 希望します ☐ 希望しません

公金受取口座とは

2. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。 2. ☐ 銀行等 ☐ ゆうちょ銀行

設問1で「（公金受取口座の利用を）希望します」を選択した場合、奨学金の振込先は原則としてあなたが国（デジタル庁）に事前登録した公金受取口座となります。ただし、あなたの公金受取口座情報を機構が利用できない場合に備えて、奨学金の振込先となる口座情報を入力する必要があります。なお、公金受取口座と同じ口座情報を入力して構いません。

【銀行等を選択した場合】

金融機関名および支店名を選択してください。

(1) 金融機関名の読みの先頭1文字を選択してください。 (1)

1 (2) 金融機関名を選択してください。 (2)

(3) 支店名の読みの先頭1文字を選択してください。 (3)

2 (4) 支店名を選択してください。 (4)

3. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

3 3. 普通（総合）口座

確認のため、再度口座番号を入力してください。 確認用

4. 口座名義人を入力してください。

(口座名義人は本人に限ります)

4 姓 名

4. 口座名義人（全角カナ）

姓 名

【ゆうちょ銀行を選択した場合】

3. 貯金通帳等で確認後、口座の記号・番号を入力してください。

3. 記号・番号 記号 番号

確認のため、再度口座の記号・番号を入力してください。

記号 番号

4. 口座名義人を入力してください。

(口座名義人は本人に限ります)

4 姓 名

4. 口座名義人（全角カナ）

姓 名

奨学金申込の時点で公金受取口座を登録済である人のみ、「希望します」を選択することができます。ただし、公金受取口座が奨学金の振込に利用できない口座（「給付奨学金案内（家計急変採用）」20ページ参照）の場合は、「希望しません」を選択してください。

注意事項を記載していますので、公金受取口座の利用を希望する場合はこのボタンを押して必ず確認してください。

番号が7桁に満たない場合は、そのまの桁数で入力してください。

口座名義人は、①ーあなたの氏名・誓約情報で入力したあなた本人のカナ氏名と完全に同一である必要があります。

※姓と名でそれぞれ15文字まで入力できます。

※姓が15文字以上ある人は、15文字まで姓に入力し、16文字以降は名に入力してください。

※ミドルネームがある人は、名の欄に「ミドルネーム」と「名前」をスペースなしで入力してください。

「記号」と「番号」の間に数字がある場合は、その数字は入力しないでください。

※番号が8桁に満たない場合は、そのまの桁数で入力してください。

【通帳の口座名義人・口座情報が記載されているページの「コピー」をここに貼り付け】

4 普通預金 銀行等

キョウ知ウ

お振付の通帳見解額は次のとおりです。	金額	変更後金額	店番	口座番号
	円	円	***	*****

株式会社××銀行 1

口座店 ××支店 2

TEL ×××(×××)××××

ご預金残高の紹介先 ××××××

お振込入金 ×××(×××)××××

印刷税中含納付につき随時税務署承認済

1 2 ゆうちょ銀行

記号 番号

1***0 *****1

おなまえ

キョウ知ウ様

3

株式会社ゆうちょ銀行
(金融機関コード:3900)

通帳とお振付印とは、別々に保管してください。

通帳作成地 東京都千代田区蔵前1-2-2
株式会社ゆうちょ銀行

印刷税中含納付につき随時税務署承認済

この番号では振込みできません

この口座を他金融機関からの振込みの受取口座として利用される際は次の内容をご指定ください

【店名】一九八(読み イチキユウハチ)

【店番】198【預金種目】普通預金【口座番号】0123456

入力後、「次へ」ボタンを押すと、奨学金振込口座情報確認に進みます。口座情報に誤りがなければ確認してから、「次へ」ボタンを押してください。以降は「給付奨学金案内（家計急変採用）」30ページを見ながら、画面の指示に従って進めてください。